

SDGsの取組みの推進

1 目的

SDGs最先進県として、「SDGs全国フォーラム2019」で発表した「SDGs日本モデル」宣言の実践・アクションに取り組むことで、国内外に神奈川モデルを発信していく。
これらの取組みを、県民、市町村、企業、大学、NPOなど、多様な主体とのパートナーシップにより推進する。

2 予算額 1億9,972万円

3 主な事業内容

区分	主な事業名及び事業概要	2年度当初予算額
(1) 地域活性化		2,000万円
①	SDGsつながりポイント事業費 県民一人ひとりがSDGsを「自分事」と捉え、地域の社会的課題解決に取り組むことで、地域における「つながり」を生み出すことを後押しするため、「SDGsつながりポイント」を市町村等と連携し構築する。	2,000万円
(2) 民間企業・ビジネス		4,668万円
②	SDGs日本モデル宣言金融促進事業費 SDGs達成に取り組む事業に対する社会的投資を促進するため、藤沢サステナブルスマートタウン等における実証を通じ、「SDGs社会的インパクト評価モデル」を構築する。また、金融機関と事業者のマッチングを図る「かながわ版SDGs金融フレームワーク」で、この評価モデルの活用や中小企業への伴走支援を行い、SDGs金融を発展させる。	4,668万円
(3) 次世代・ジェンダー		870万円
③	SDGs日本モデル宣言活躍支援事業費 「SDGsQuestみらい甲子園」等の取組みにより、若年層の自主的なアクションを生み出すとともに、女性目線によるSDGsの発信により、女性の認知度向上や自分事としての行動を促すなど、SDGsの担い手の活躍を支援する。	870万円
(4) パートナーシップ・普及啓発・国内外への情報発信		8,713万円
④	SDGs普及啓発事業費 SDGsの認知度向上をより効果的に行うため、東京2020大会とあわせて設置するライブサイトで県民向けイベント等を行うとともに、かながわSDGsパートナーの募集等を行い、多様な主体とのパートナーシップを構築し、SDGsの具体的な取組みを創出する。	2,713万円
⑤	SDGsアクションフェスティバル開催等事業費 新たなビジネス機会の創出や県民のSDGsを意識した行動につなげるため、世界各地での市民を巻き込んだSDGs普及の取組みや様々な地域課題の解決に取り組む事例等を共有するアジア初の「SDG Global Festival of Action」のランチイベントを、国連機関と連携し、本県で開催する。	6,000万円
○	その他 神奈川ME-BYORリビングラボ推進事業費など4事業	3,721万円
合 計		1億9,972万円

【参考】かながわプラごみゼロ宣言に関連した取組み

⑥	プラスチックごみ削減推進事業費 「かながわプラごみゼロ宣言」に基づき、2030年までのできるだけ早期に、捨てられるプラスチックごみゼロを目指すため、ワンウェイプラの削減、プラごみの再生利用の推進、クリーン活動の拡大等に係る取組みを行う。	937万円
---	--	-------

問合せ先				
【①～⑤】	政策局SDGs推進課	課長	船山	電話 045-285-1052
【⑥】	環境農政局環境部資源循環推進課	課長	穂積	電話 045-210-4170